

11支部のTOPを切って千葉転支部定期大会開かる

日刊 動労千葉

83. 10. 27

No. 1478

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二、七二〇七

政府・国鉄当局の

国鉄労働者攻撃に怒りが集中

支部通
信員発

※※※

千葉運転区支部第六回定期大会は、十月二〇日、運転区講習室において七八名の組合員が結集するなかで開催された。

※※※

中野一布施体制を全力で支え闘おう！

—— 永田支部長があいさつ ——

大会は白井副支部長の司会によって十三時三〇分に始まり、議長に多田代議員を選出してすすめられた。

永田支部長は、「動労千葉第八回定期大会において新しく成立した、中野一布施体制の出身支部として全力で支え、敵（支配階級）のウィークポイントである三里塚と国鉄を基軸に、11・9レーガン来日反対、『59・2ダイ改』、動乗勤改悪阻止の諸闘争に決起しよう」とあいさつした。

つづいて、小島支部乗務員分科会長、中野本部委員長のあいさつを受け、その後、経過報告、決算報告、八三年度方針案、予算案が執行部より提案され質疑討論に入った。

三時間に及ぶ熱心な討論

三時間に及ぶ白熱した討論は、政府・国鉄当局の常軌を逸した国鉄労働者への攻撃と、その尖兵としてたちあらわれている動労「本部」革マルに対する怒りに満ちたものとなった。

主な意見は、動労「本部」革マル分子の送りこ



当面するスケジュール

- 10月28日 ソフトボール大会（天台球場）
- 31日 寺尾差別判決9か年糾弾・狭山再審要求集会（代々木公園B地区）
- 11月1日 第一回支部代表者会議（動力車会館）
- 1/2日 憲法よう護全国大会（鳥取）
- 3日 第五回団結祭典 大運動会（千葉鉄道学園グラウンド）
- 4日 青年部常任委員会
- 7日 中江公判、「サンケイ」公判（東京地裁）
- 9日 レーガン来日阻止、田中一中曾根内閣打倒全国集会（多摩川緑地公園）
- 10日 乗務員分科第六回定期委員会（御宿）
- 12日 サークル協約大会（横芝・栗山川）

一九八三年度 新執行体制

- 支部長 永田 雅章
- 副支部長 白井 敏行
- 書記長 内山 等
- 執行委員 江口治男、梅沢利男、林 利明
- “ 相原照二、関 弘明、石井 映
- “ 加藤正人、角田清明

支部は、「職場から放り出されたいために」と政府・当局に屈服し、奴隷の道へ転落した革マル反動分子の腐敗と決別し、労働運動の大義を守る動労千葉の路線と闘いに大きな確信を深めた。大会はその後、新執行部の選出を確認し、定期大会は十七時、成功裏に終了した。

み問題についてどうなのか、仲裁裁定未実施という状況のなかで、共済掛金の値上げは許せないが展望はどうか、他職場では名札を着用しているが運転職場に強制してきた場合は拒否すべきではないか、「59・2ダイ改」の状況と東金線四両化に伴う運転保安についてをはじめ、諸要求がだされ、活発な討論が展開された。

これに対して、支部執行部、本部からの答弁を受け、満場の拍手で経過報告、決算、方針、予算を承認した。